

よむ

News from
Inabe City
Council

No.90

ギカイ

いなべ市議会だより／令和8年／6月定例会

- P2～ 6月定例会の注目ポイント
- P6～ 13人の議員が問う一般質問
- P13 政務活動費報告
- P14 市民と向き合う
議会報告会&意見交換会
- P15 中学生が議場を体験!
- P16 チャレンジ! 読者クイズ

一般社団法人 いなべ市観光協会主催
第10回 いなべ市観光写真コンテスト作品
「盛夏」 鈴木宝王さん

6月定例会

(6月5日～6月26日)

補正予算や条例の制定などを含む14議案を審議

議案第43号 令和8年度いなべ市一般会計補正予算(第2号)

全会一致で可決

こども・子育て拠点施設整備事業 1,453万円

こども・子育て拠点施設整備に係るプロポーザルの実施並びに当該拠点で実施するソフト事業の検討及び市民理解促進のため、イベントや市民意見交換会を実施する。

質疑 Q イベントや意見交換会はどの程度の回数か。

A イベント(木育キャラバン)は土日の2日間連続開催で1回、意見交換会は「体験」と「学び」をテーマとし、各テーマは連続性のある4回程度、全体で合計8回を予定している。



地産地消推進事業(そば祭り委託事業) 746万円

県の指導により建築物内で調理したそばを提供する必要が生じたため、従来のパイプテントに替えてユニットハウスを使用する。これに伴い会場施設が充実することから、開催期間を2日間に延長する。

質疑 Q ユニットハウスレンタル料550万円は何日間のリース料か。

A 使用は2日間であるが、準備や片付けで1週間程度。

Q ユニットハウスの大きさは。

A 1棟40平方メートルの建物を10棟予定している。

Q 2日間開催とすることで来場者数をどの程度見込んでいるか。

A 1万5,000人から2万人程度を目標としている。



そば祭りで使用するユニットハウスのイメージ

地域産業振興事業(イナベ コモンズ ベース イノベーション 事業) 1,482万円

地域産業の活性化と地域内での経済循環の強化を目的として、「INABE COMMONS BASE」の整備と人材育成や事業支援などの取り組みを一体的に推進する。

【事業概要】

- ①デジタル分野を中心とした人材育成
- ②購買データ等を活用した地域経済の分析と消費促進の仕組みづくり

※令和8年第2回いなべ市議会臨時会(4月21日)において、地域の活性化と地域内の経済循環の強化を目的として、地域産業の拠点施設「INABE COMMONS BASE」を整備することについての予算が議決されました。いなべ市商工会の新しい拠点、および地域活性化のための利用が考えられています。

質疑 Q デジタル分野を中心とした人材育成とは、商工会に委託するのか。

A 専門的知見を有する事業者へ委託する。

Q Vポイントを活用した仕組みづくりとは。

A 全国的に普及した共通ID基盤であり、消費行動や来訪動向を把握することが可能になる。



現在の商工会事務所(ウッドヘッド)

★賛成と反対が分かれた議案と審議結果

○は賛成 ●は反対 渡辺一弘議長は採決に加わらない。(可否同数の場合は議長裁決)

会 派			チーム共創 いなべ					新政・絆		創風会		新風いなべ			いなべ 未来		無会派			
議 案 名	付託委員会	審議結果	長崎十九八	奥岡 敦史	近藤 厚旨	伊藤 一成	小林 雅史	小川 幹則	西井真理子	渡辺 一弘	清水 隆弘	伊藤 智子	小川 英俊	片山 秀樹	出口日佐男	伊藤 三保	位田まさ子	岡 英昭	岡 恒和	黒瀬 信明
議案第46号 令和8年度いなべ市一般会計補正予算（第4号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
発議第5号 中東情勢に伴う物価高騰等の対策を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

討VS論

本会議において「賛成」「反対」の討論があったもの

議案第46号 令和8年度いなべ市一般会計補正予算(第4号)

賛成多数で可決



反対討論

岡 恒和

物価高騰対応交付金は 低所得者への給付とすべき

今の物価高騰は、低年金で暮らす市民の生活を圧迫している。いなべ市ではこれまでこの交付金を、子育て支援や防犯灯のLED化事業などに充ててきた。いなべ市の住民税非課税世帯は約1,100世帯程度で、今回はこうした低年金、低所得者に物価高騰対応支援として、給付をすることが交付金の目的にかなう。本議案は、市民への給付はなく、財源組替で、財政調整基金に繰り入れていく内容となっているため反対する。



賛成討論

出口日佐男

安定した行政サービスを行 うための措置だ

物価高騰の影響を受けている生活者や事業者の支援を目的に、国から物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金1,562万6,000円が配分された。

いなべ市としては、今回、財源組替を行うことで、年度間の財源不足を補うために、いわゆる一般家庭に例えると貯金として積み立てるものである。

現在市の税収は好調だが、今後景気変動による税収減や大規模災害など不測の事態に備えるものとして、安定した行政サービスを行える措置と判断し賛成する。

6月定例会議案 議決結果一覧表

★全会一致で可決および承認した議案等

議案第36号 消防団員等公務災害補償条例の一部を改正…非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、条例の一部を改正

議案第37号 税条例の一部を改正…地方税法等の一部改正に伴い、条例の一部を改正

議案第38号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正…児童福祉法改正に伴う児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部改正により、関連する条例を改正

議案第39号 給水条例の一部を改正…給水装置工事について、災害その他非常の場合に市の指定給水装置工事事業者以外の事業者でも施工できることとすること、及びデジタル原則に照らした規制を見直すため、条例の一部を改正

議案第40号 下水道条例の一部を改正…排水設備工事について、災害その他非常の場合に市の指定排水設備工事店以外の営業所でも施工できることとすること、及びデジタル原則に照らした規制を見直すため、条例の一部を改正

※議案名は一部省略しています

議案第41号 財産の取得(公立学校タブレット端末購入)…県の公立学校情報機器整備事業費補助金を活用し、市内小中学校の児童、生徒及び教職員が使用するタブレット端末を購入しようとするもの

議案第42号 三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び三重県市町公平委員会共同設置規約の変更に関する協議…令和8年9月1日からいなべ市菰野町清掃事務組合が三重県市町公平委員会に加入することにより、関係地方公共団体との協議について議会の議決を経る必要があるもの

議案第43号 令和8年度いなべ市一般会計補正予算(第2号)

議案第44号 令和8年度いなべ市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

議案第45号 令和8年度いなべ市一般会計補正予算(第3号)

発議第3号 介護人材の確保及び処遇改善を求める意見書の提出

発議第4号 戦没者慰霊碑の維持管理及び保存継承に関する意見書の提出

国に意見書を提出

介護人材の確保及び処遇改善を求める意見書

2026年6月に施行された介護報酬改定は、処遇改善加算の拡充や食費の引上げなどを含む「緊急対応」として異例の期中改定が実施されました。一方で、事務手続きの複雑化や加算条件に伴う事務負担の増大が課題となっています。高齢化率は今後も上昇し、介護サービス需要が拡大する中、賃金水準の格差と人材不足の深刻化が懸念されます。多様なニーズに対応する介護サービスの安定的な提供体制および人材の確保のため、報酬水準の抜本的引上げ、算定要件の簡素化、「年収の壁」の見直し、イメージ向上施策を国に強く求めます。(要約)

[意見書全文はこちら](#)

戦没者慰霊碑の維持管理及び保存継承に関する意見書

先の大戦をはじめとする戦争による戦没者の尊い犠牲の上に、現在の平和で豊かな生活が築かれていることを忘れてはなりません。全国で1万6,235基にのぼる慰霊碑の中には、管理状況が確認できないものが多数存在しています。遺族会会員数の減少により地域での維持管理には限界が生じ、倒壊等の事故や、戦争の記憶・教訓の継承が困難になることが懸念されます。このため、財政支援の拡充、登録・点検体制の構築、人的・制度的支援の強化等を国に強く求めます。(要約)

[意見書全文はこちら](#)

中東情勢に伴う物価高騰等の対策を求める意見書

昨今のイラン情勢の緊迫化に伴う原油価格の高騰や長期化する物価上昇は、市民生活と地域経済に深刻な影響を及ぼしています。生活必需品の購入を控えざるを得ない層が過半数を超え、企業においても原油や原材料費高騰、供給不足に対する深刻な不安が広がっています。運輸業者からは、原油高による燃料油価格高騰により事業継続が困難との声も寄せられています。こうした状況を踏まえ、補正予算の編成、実効性ある支援、相談体制の強化、低所得者支援など迅速かつ万全な対策を講じるよう国に強く要望します。(要約)

[意見書全文はこちら](#)

市民の皆さまに身近で特に関心があると思われる議案について、ご意見を募集しました

詳しくはホームページをご覧ください



議案第43号 令和8年度いなべ市一般会計補正予算（第2号）より

こども・子育て拠点施設整備事業について

- 「屋内遊び場」にとどまらず、いなべ市の未来を担う子どもたちの生命力と主権者意識を育てる場となることを心から願う。
- 将来にわたり多くの子育て世帯等や地域住民に利用される公共施設であることから、整備段階だけでなく、運営・利用・評価までを見据えた持続可能な視点で事業を推進することが重要である。

そば祭り委託事業について

- 単なるイベント運営費の増額ではなく、市有資産の有効活用、地域経済循環の促進、ユニットハウス導入による防災力の向上、環境負荷の低減および地域ブランドの発信につながる持続可能な投資となることを期待する。

INABE COMMONS BASE INNOVATION 事業について

- 農業・食・自然資源を活かした新しい試み、デジタルを使った地域課題解決など、創業前の段階から伴走できる拠点としての機能を求める。
- 持続可能な地域経済循環の促進、新拠点の有効活用、地域産業の競争力強化および環境変化に強い地域ブランドの確立を通じて、市内事業者の持続的な成長と地域全体の活力向上につながることを期待する。

※ご意見は紙面の都合上、編集しています。

第2回 臨時会のようす（令和8年4月21日）

★賛成と反対が分かれた議案と審議結果

○は賛成 ●は反対 渡辺一弘議長は採決に加わらない。（可否同数の場合は議長裁決）

会 派			チーム共創 いなべ					新政・絆		創風会		新風いなべ			いなべ 未来		無会派			
議 案 名	付託 委員会	審議 結果	長 崎 十 九 八	奥 岡 敦 史	近 藤 厚 旨	伊 藤 一 成	小 林 雅 史	小 川 幹 則	西 井 真 理 子	渡 辺 一 弘	清 水 隆 弘	伊 藤 智 子	小 川 英 俊	片 山 秀 樹	出 口 日 佐 男	伊 藤 三 保	位 田 ま さ 子	岡 英 昭	岡 恒 和	黒 瀬 信 明
承認第3号 専決処分の承認を求めることについて（いなべ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）		承認	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
議案第35号 令和8年度いなべ市一般会計補正予算（第1号）	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

（付託委員会／予：予算決算常任委員会）

討VS論

本会議において「賛成」「反対」の討論があったもの

議案第35号 令和8年度いなべ市一般会計補正予算（第1号）

賛成多数で可決

反対討論

岡 恒和

中小事業者活性化の効果が検証されていない

本事業（地域産業振興事業）計画で、どのような効果があるか検証されていない。今後ソフト事業を通じて明らかにするというが、それでは議会として白紙委任をするに等しい。いなべ市の中小業者にとっては厳しい状況が続いている。これまで、住宅リフォーム制度や、危険ブロック塀を撤去する助成などを求めてきた。中小業者に対しては直接的な支援を進めることがまずは必要。今後も国への補助申請はできるため、精査ができていない現状では反対する。

賛成討論

清水 隆弘

商工会は地域経済の心臓部だ

商工会員が直面しているのは人手不足・原材料高・販路の不安・デジタル化への対応で待ったなしの課題。会館建設は商工会にとって長年の課題。交付金が採択され千載一遇のチャンス。事業者が元気になれば税収が市民に還元され、福祉や教育の充実につながる。この施設を「稼ぐ力を引き出すエンジン」にして第3次総合計画の数値目標の上方修正も視野に、継続的な支援を求め、事業者にとって「頼れる・挑戦できる場所」となることを期待。

臨時会議案 議決結果 ★全会一致で可決および承認した議案

承認第2号 専決処分の承認を求めることについて（いなべ市税条例の一部を改正する条例）…地方税法等が一部改正されたこと等に伴い、いなべ市税条例について、専決処分により所要の改正を行ったので、報告し承認を求めるもの

一般質問

市民の
声を届ける13議員
が登壇!!質問通告項目は
以下のとおりです。一般質問は市政全般
に対して質問を行います。一般質問の内容についての
記事は各議員の責任において要約し、
掲載しています。※各質問の動画は目次
に対応する番号のQRコードからご覧
いただけます。

小林 雅史 P6

- 1 負の遺産から地域の資産へ
～J-クレジットによる市内企業の支援～
- 2 ホルムズショックやエネルギー危機の対応について

伊藤 一成 P7

- 1 こどもの遊び場について
- 2 保育園の公営化について

近藤 厚旨 P7

- 1 いなべ市の建物施設について

奥岡 敦史 P8

- 1 自転車事故のない安全で安心なまちづくり
- 2 ツアー・オブ・ジャパンについて

伊藤 智子 P8

- 1 いなべ市食と農からみた未来について
- 2 いなべ市の自然からみた未来について

清水 隆弘 P9

- 1 障害者差別解消法に基づく合理的配慮について
- 2 『はだしのゲン』の小中学校での閲覧について
- 3 たばこ税と健康増進の兼ね合いについて

伊藤 三保 P9

- 1 安心・安全な給食運営を
- 2 多様な市民にやさしいまちづくりを

片山 秀樹 P10

- 1 東海環状自動車道二之瀬のトンネル工事の
影響に対し市はどう対応するのか
- 2 観光投資と定住戦略について

小川 幹則 P10

- 1 防災に強いまちづくりの実効性について
- 2 持続可能な財政運営について

西井 真理子 P11

- 1 0歳から5歳の療育支援について
- 2 新商工会館整備と今後の連携について

岡 英昭 P11

- 1 教育の諸課題について

岡 恒和 P12

- 1 地方創生事業として整備されたキャンプ場について問う
- 2 野尻橋（藤原町下野尻）について問う

黒瀬 信明 P12

- 1 大規模太陽光発電事業における行政文書管理と
地域説明責任について
- 2 太陽光発電設備に係る災害・火災リスク及び
設置後管理について
- 3 景観・観光政策と森林、水資源保全について

チーム共創いなべ
こばやし まさし
小林 雅史

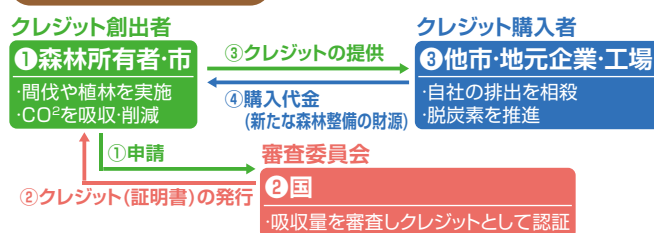
J-クレジットによる企業支援

答／実施に向け、検討を始めたところ

Q 国のJ-クレジット制度を活用し、森林保全の財源確保や、市内企業の脱炭素支援に活用することについての見解は。

A 森林環境譲与税を受けて荒廃森林の整備を行っているが、整備費用の財源が不足している状況。脱炭素化が迫られている市内企業に購入してもらう仕組みとして、企業版ふるさと納税による寄付の受け入れから始め、将来的に認証されたJ-クレジットの買い取りを目指したい。荒廃森林の解消、企業の社会貢献、脱炭素社会の実現、ひいては地方創生にもつながり、本市にも企業にも大きなメリットがあると考えるが、森林経営計画をはじめ、多くの調整が必要。

J-クレジットの仕組み



ホルムズショックやエネルギー危機の対応

Q 市指定ごみ袋の在庫量は十分か。

A 1年間の必要量に対して、十分確保できる見込み。

Q 水素ステーションを活用した有事の際の防災インフラとしての位置付けは。

A 水素ステーションに隣接して開業する三重トヨタ自動車株式会社と脱炭素・防災に関する包括協定を締結しており、同社の保有するFCVやEVによる電力供給に関する項目が盛り込まれている。災害時にはこれらの車両を活用して、避難所等へ電力を供給することを想定している。

※FCV(燃料電池車)…水素と酸素で発電し、水だけを排出して走る次世代の自動車



拠点施設に外遊び場所の検討は

答／野球場の外野部分も検討

Q こども子育て拠点施設の屋外で遊ぶ場所に対して、近くの野球場や体育館などは想定しているか。

A 隣接する野球場の活用について、施設管理者との調整は必要であるが、外野部分は芝生となっているので可能性があると認識している。また、体育館も同様で、旧大安庁舎周辺の施設も活用していければと考えている。

Q 令和8年3月定例会の答弁で、空き地や田んぼで遊べるとあったが、子どもたちが遊べる環境にあるとは到底思えない。校庭を遊び場として開放しているという認識でいいのか。

A 土日・祝日の午前9時から午後6時までの利用は、あらかじめいなべ市教育委員会の許可を受けなければならないが、学校がある平日についてはこの限りではないため、放課後は遊び場として開放していると認識している。



(AI生成イメージ図)

こども園の公営化による保育士の不安解消

Q 方針だけが示され、具体的な内容が当事者である保育士に示されていないため、不安や困惑を生じさせている現状に対して所見を問う。

A 社会福祉協議会のこども園については、公営化も選択肢の一つとして必要な支援を続けていくことが、現場の保育士まで十分に伝わっていない面もあると受け止めている。今後も社会福祉協議会と連携し、保育士が安心して働き続けられるよう、丁寧な情報共有に努める。



市の建物施設の設計過程の問題

答／専門性ある人を活用していきたい

Q 市の建物施設で使い勝手が悪い間取りや設備、工事・維持管理費がかさむものが見受けられる。設計段階において十分な検討協議がなされていないと考える。既設施設の庁舎/こども園/キャンプ場を例に所見、対策を問う。(動画参照) 今後、建設予定の施設が市民、仕事をする人にとって使いやすく、愛され、維持管理がしやすい施設を目指すため、設計からプロポーザルまで専門的な知見でチェックする体制が必要では。

A コンストラクション・マネジメントや地域活性化企業人などを活用していきたい。

※コンストラクション・マネジメント

…建物や道路、公共施設などの建設工事を進めるときに、発注者(自治体や会社など)の立場に立って、工事全体を管理・調整する手法

Q 専門性の高い施設は現場を利用する人、仕事をする人のことをしっかり聞くことが重要と考える。現場の声を設計に落とし込める仕組みづくりが必要では。

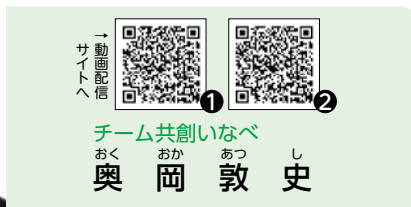
A 現場の声は聞いているが、現場の人が図面を見て想像できない。アドバイザー(建築の通訳)がいれば、仲介してもらうのも一つの方法。そんな人を紹介してもらえるとありがたい。

Q 建てた施設を検証することを提案する。良い点悪い点を検証し記録することで職員の建築リテラシー向上、担当者が変わっても検証記録を通じて次の施設を建てる際に役立ち、その記録が担当課の財産になると思うが。

A 記録に残すことも検討していきたい。



梅林公園キャンプ場の拠点棟



自転車事故のないまちづくり

答／これからも安全走行確保に努める

Q 自転車に対する交通反則通告制度（青切符）が4月より施行されたが、制度に関する問い合わせは。

A 現時点では制度に関する問い合わせはない。16歳以上が対象となること、違反行為に対し青切符が交付されること等をホームページで周知している。

Q 自転車等に関する事故防止・安全走行確保の取り組みは。

A 市内の公園等のトイレで、自転車の交通ルールが印刷してあるトイレ用紙を使用し啓発している。また、いなべ警察署・いなべ地区交通安全協会と連携し、事故防止・安全走行確保に努める。

Q 自歩道整備に関する今後の計画は。

A ニーズは高いが、現在は西方上笠田線のみ計画している。

Q 市内の危険な交差点等の対策は。

A 歩道整備など中長期対策を県に要望し、安全確保に努める。

ツアー・オブ・ジャパン

Q 総合計画に明記された「いなべのブランド力の向上」につながっているか。

A 自転車のまちいなべが定着しており、魅力のある観光地づくりやブランド力向上につながっている。

Q 地域づくり・活性化に寄与しているか。

A 多くの自転車ファンやサイクリストが訪れ、交流人口増加につながっている。

Q 今後の取り組みは。

A 市の観光振興を支える各種団体や事業者と連携し、SNSや、メディアイベント等有効に活用した効果的なPRを実施する。



白熱したツアー・オブ・ジャパン



いなべ市の食・農からみた未来

答／農業生産体制を維持発展していく

Q 学校給食での地産地消は。

A 地元食材を使用した給食を学期に1度を目標にしていたが、令和7年度は小中学校で年間27回ほど提供できた。

Q オーガニック（有機）ビレッジを進めるために有機農業拠点創出拡大加速化事業の交付金を活用して農業者、事業者、消費者、専門家等との推進会議等をして進めていく考えは。

A 再度担当課と協議して決める。

いなべ市の自然からみた未来

Q 子どもたちにキャンプをさせてあげたいと市民から要望があるが、学校行事でキャンプ場を使う場合、料金を減免等にする考えは。

A 梅林公園については、指定管理者と協議して調整する。

Q 森林セラピー基地とは、森林浴だけでなく科学的な証拠に裏付けられた森林浴効果のことであり、心と体の健康維持増進、病気の予防を行う。各課協力してセラピー基地づくりをしてはどうか。

A 里山散策、野草観察等を行っており、いなべ等のイベントでは、すでに自然を生かした企画をしている。

Q 公園を作ってほしいと多くの市民から要望がある。インクルーシブ遊具をいなべ公園やにぎわいの森等に設置してはどうか。

A インクルーシブ遊具の設置について検討していく。



車いすのままの子も小さな子も
みんな一緒に楽しめるインクルーシブ遊具（AI生成イメージ図）



「はだしのゲン」の活用はどうか

答／読む自由と読まない自由を保障

Q 低学年児童への心理的影響への配慮は。

A 専門家、養護教諭が学校内で連携し、心配のある子どもたちに寄り添う。



教育的配慮が必要な「はだしのゲン」

Q 天皇への批判、国歌斉唱を拒否するシーンがある。学習指導要領では天皇の地位や役割を理解して尊重すること、国歌に関しては斉唱することが求められているが、どう指導しているか。

A 時代的背景を子どもたちに説明できるようなことが教職員として大切。

障がい者差別解消法に基づく合理的配慮は

Q 事業者に対する義務化への対応で商工会との連携は。

A 合理的配慮は決して過度な負担を強いるものではなく、日々の関係性の延長線上にあるという認識を共有し、商工会との情報共有を少しずつ深めていきたい。

Q 合理的配慮について声を上げづらい人たちの意見把握をどう進めるか。

A 特に若い人たちにおいては、そっとしておいてほしいと言われる人も多くいる。それがいいのか悪いのか、専門職、関係機関が連携して何が適切なのかを相談し、支援に当たってきたい。

たばこ税と健康増進の兼ね合いについて

Q 市のたばこ税をどのような税目と位置付けているか。

A たばこ税は市の貴重な財源の一つとして位置付けている。特に用途が特定されない一般財源であるから、市民生活に身近な行政サービスを安定的に提供するための財源として重要な役割を担っていると認識。



安心・安全な給食運営を

答／制度や規則の整備を進める

Q アレルギー対応が必要な家庭には、献立表とは別に成分表を配布してチェックをもらっている。この成分表の様式の統一化、ICT化する考えは。

A 保護者の負担軽減、チェックもれなどのリスクを軽減するため成分表の様式の統一を検討する。



一人一人の除去食を準備し、除去してある食材も明記し、確実に本人に届ける

Q エピペンの利用方法など、アナフィラキシーショックを起こした場合の対処は。

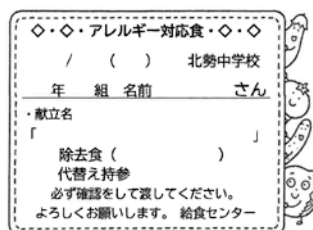
A マニュアルを作成し、保護者と連携しながら訓練を行い、役割分担をしてスムーズに迅速に動ける体制を取っている。

Q 国は公立小学校に向け給食費の補助をするが、アレルギーにより完全に弁当持参の家庭には、国からの給付金を給付するべきと考えるが。

A 国からの給付金を給付できるよう、制度や規則等の整備を進める。

Q 本市では、すでに中学生の給食費も無償となっているが、中学生に対してはどうか。

A 小学生と同様に規則の整備を進める。



当日、アレルギー対応食に添付

多様な市民にやさしいまちづくり

Q 視覚障がい者の外出支援のため、スマートフォンをかざすと音声案内をするナビレンスというシステムがあるが、導入する考えは。

A 合理的配慮の観点から有効と認識するが、実効性の観点からいくつかの重要な課題を慎重に見極める必要がある。他の有効なアプリの検討や他自治体の運用事例などを注視しながら精査していく。



二之瀬のトンネル工事被害対応は

答／恒久的な農業用水確保に努める

Q 東海環状自動車道二之瀬のトンネル工事では、大量の湧き水の発生により開通時期が未定となっている。また河川流量減による農業用水への影響、濁水が発生している。市の現状認識と今後の対応は。



トンネル工事により水の流量がほぼなくなった状態の二之瀬の御井当谷川

A 市は河川流量の大幅な減少による農業用水への影響は重大な課題と認識している。現在はポンプアップにより用水を確保しており、国やNEXCO中日本とも連携している。今後も協議やモニタリングを継続し、安定供給の確保を検討していく。

Q 下流域（下平・向平）では井戸水の枯渇で住民生活や営農への影響も発生している。営農は自費でポンプアップしている。他市町では営農支援をした例もある。支援の考えは。

A 井戸水不足に関する相談は把握しており、国、NEXCO中日本と情報共有している。ただし、公費による支援は明確な根拠が必要であり、今後の調査結果を踏まえ対応を検討する。

Q 東海環状自動車道はいなべ市に多大な経済効果をもたらす一方、被害を受ける地域がある。恒久的な対策を市が主体的に取り組み、国に要望すべきではないか。

A 市は国やNEXCO中日本に地域の要望を伝えており、市長も直接要望を行っている。今後も安心して営農できる環境の確保に取り組む。



防災に強いまちづくりの現状は

答／避難所機能の強化に努める

Q 長期避難を想定した生活環境整備の備えを問う。

A 大規模災害時の長期避難は災害関連死にもつながることから、避難所の生活環境整備が急務。空調やプライベート空間・女性専用空間の確保に加え、屋内テントや簡易トイレ等、生活の質の向上のため順次環境整備に努めている。

Q 先般避難勧告が出された養父川の改修及び排水対策の進捗状況は。

A 現時点で大雨に完全対応する改修は未了のため、監視と排水能力の維持・強化を優先し、流域全体の改修を県に要望しながら、避難体制の強化に努める。



豪雨による越流寸前の養父川

Q 高齢者・要支援者への支援による地域防災力の強化は。

A 避難行動要支援者支援への取り組みは64自治会にとどまり、50近い自治会がまだであるため、福祉委員会等を通じて増やしていきたい。

持続可能な財政運営の適正化

Q 財政調整基金等の現在高をどう評価しているか。

A 物価高騰による物件費・人件費増加のため、財政調整基金の取崩し額が2年連続で20億円後半。今後は歳出抑制と歳入確保による財政基盤強化の必要があると考えている。

Q 物件費削減のため重点的に何に取り組むか。

A 公共施設の配置の適正化による維持管理費の抑制と補助金の総点検を行い、市民負担の公平性の観点から受益者負担の適正化を図っていききたい。



新政・絆
にし い ま り こ
西 井 真 理 子

※ いなべの自然を活かした療育を

答／近隣市町との連携を進めたい

- Q 市外施設を利用している児童数と現状の課題は。
- A 市外の施設を利用しているのは約50人。本来はいなべで福祉サービスを受けることが望ましいが、市内の児童発達支援事業所の受け皿が不足している。要因は、人材確保や安定した利用者数の確保が困難なため。
- Q 当市では専門職がこども園を巡回する支援をしているか。
- A 各園に出向き、個別の療育等を実施。
- Q 桑名市らいむの丘（児童発達支援センター）が行うこども園や保護者への支援（保育所等訪問支援事業）について、当市の実施状況は。
- A 今後も、らいむの丘との連携を強化し支援の充実を図る。
- Q いなべ市の豊かな自然を活かした特色ある療育や自然体験を取り入れた発達支援を期待するが市長の考えは。
- A 小さな市で賄うのは非効率。近隣市町と広域連携を進めたい。



（AI生成イメージ図）

※療育…障害のある子どもや発達に心配のある子どもに、日常生活や社会生活に必要な力を育む支援

挑戦者が集まるいなべ市の拠点へ

- Q 新商工会館整備に係るスケジュールと施設概要は。
- A 令和8年度に実施設計、令和9年度に建設工事、令和10年度に備品調達を行った後、供用開始。
- Q 商品開発については誰が事業者と一緒にっていくのか。
- A 地域活性化企業人などの専門家。
- Q いなべ市が建築主体となり整備する。新たに起業などに挑戦する人が相談できる機能を備えるべきでは。
- A 商工会に相談業務など新しい事業を取り入れてもらい補助金を活用する。



いなべ未来
おか ひで あき 昭
岡 英 昭

部活動地域指導員の不足はないか

答／種目で偏りはあるが92人で充足

- Q 部活動地域移行について新入学説明会の反応は。
- A 質問も出ず、おおむね理解を得た。
- Q 令和8年度の学校規模は。
- A 小学校の最大校は員弁東小学校（290人）、最小校は丹生川小学校（78人）、中学校の最大校は大安中学校（401人）、最小校は藤原中学校（117人）。
- Q 教員採用試験での新規任用教員の配置状況は。
- A 小学校10人、中学校2人。
- Q 児童数が減少する中、学校統廃合が教育委員会の会合で議題となったことは。
- A 教育委員会定例会でも出ず、現在のところ考えていない。
- Q 次年度の学級担任確保の手順は。
- A 年内に産休、育休等取得希望の把握をし、担任を確保する。
- Q 特別支援学級も含め学級担任不足は生じていないか。
- A 担任不足はない。
- Q 特別支援学級の設置状況は。
- A 小学校27学級、中学校11学級。
- Q 市内の特別支援学校との関係性は。
- A 所管は県だが市内の児童生徒も在籍しているので、教員の合同研修、児童の交流、進路選択等連携、協働していく。
- Q 平成29年度から始まった施設一体型小中一貫教育の実践成果は。
- A 同学年の仲間と切れることのない絆で結ばれた関係性を築けたこと、また、異学年の仲間とのつながりを深める活動が確立されてきたこと。



施設一体型小中一貫教育に取り組む藤原小・中学校



宇賀溪キャンプ場の運営状況は

答／稼働率7.8%、収支把握なし

Q 2023年度から2025年度の年間収支、利用者数および稼働期間における稼働率（利用人数×日数÷利用可能人数×日数）は。

A 2023年度から25年度の年間収支は把握していない。利用者数は、それぞれ4,780人、2,967人、2,153人。稼働期間における稼働率は7.8%。

Q 梅林公園キャンプ場に関し、指定管理料が令和8年度5,000万円で、令和10年度が2,500万円となっている。指定管理料を減らし、なくすためには自立していくこと、利益を上げていくことが必要。その中で例えば1日市民に開放することもできる。どのように進めていく考えか。

A 指定管理者となった一般社団法人グリーンクリエイティブいなべの企画提案で進める。梅まつりについては、今後ライトアップを検討すると聞いている。

野尻橋（藤原町下野尻）について問う

Q 現在の通行止めの状況では、大きな交通事故などがあれば、迂回をする道路がなくなってしまう。架け替えが絶対必要だと思うが考えは。

A 架け替えするのもいいと思うが、費用対効果などの検討がいる。令和8年度以降、総合調査をする予定で、その結果を見て判断したい。調査については道路メンテナンス事業計画に上げ、補助金事業とするので令和9年度以降になる。概算の工事費等については令和8年度実施する。



通行止めが続く野尻橋東詰めとその周辺



大規模太陽光事業の将来責任

答／国や県の現行制度で対応していく

Q 本市は、大規模開発事業に関する行政文書の保存・管理について、現行制度で十分に対応できると考えているか。

A 文書は規定に基づき管理しており、現行制度で対応している。

Q 長期事業に対応した文書保存や市独自ルールは必要ではないか。

A 見直しや条例整備の必要はないと考えている。

Q 設備事故発生時の責任主体は誰か。

A 設備所有者が責任を負う。

太陽光設備の安全対策

Q 火災や災害時の有害物質流出リスクをどう認識しているか。

A 可能性はあるが極めて低いと認識している。

Q 公共施設の安全対策は十分か。

A 事業者が管理・監視し、異常時は迅速に対応する。

景観と森林保全

Q 景観への影響調査は実施したのか。

A 影響はないと考え、調査は実施していない。

Q 景観・森林保全のため市独自の条例整備は必要ではないか。

A 現時点で新たな条例整備は必要ないと考えている。

Q 市内で太陽光事業で使用されている銅線の盗難が増えているが、県にいなべ警察署の予算・人を増やすよう要望等する考えは。

A 考えはない。



メガソーラー（イメージ画像）

令和7年度 いなべ市議会 政務活動費 収支報告

(令和7年4月～令和7年11月)

(単位：円)

会派名	いなべ未来	新風いなべ	創風会	新生つばさ	日本共産党 いなべ市議団	政和会	秀真の和
所属議員 項 目	林 正男 (4～9月)	片山 秀樹	清水 隆弘	渡辺 一弘	衣笠 民子	西井真理子	篠原 史紀 (7～11月)
	岡 英昭	多湖 公	伊藤 智子	伊藤 三保	岡 恒和		
	小川 幹則	篠原 史紀 (4～6月)	小寺 徹翁	原田 敬司			
	位田まさ子	出口日佐男					
	寺輪 博樹						
交 付 額	1,140,000	810,000	720,000	720,000	480,000	240,000	150,000
調査研究費	41,800	103,740	219,239	26,400	34,920	8,800	5,500
研 修 費	51,960	51,960	51,960	51,960		17,320	50,720
広 報 費	266,706	596,310	257,818	316,646	444,504	230,296	101,117
資料作成費				38,401			
事務所費	89,870			89,760			
支 出 額	450,336	752,010	529,017	523,167	479,424	256,416	157,337
返 納 額	689,664	57,990	190,983	196,833	576	0	0

(令和7年12月～令和8年3月)

(単位：円)

会派名	チーム共創 いなべ	新政・絆	創風会	新風いなべ	いなべ未来	日本共産党 いなべ市議団	いなべ ファースト
所属議員 項 目	長崎十九八	小川 幹則	清水 隆弘	片山 秀樹	位田まさ子	岡 恒和	黒瀬 信明
	奥岡 敦史	西井真理子	伊藤 智子	出口日佐男	岡 英昭		
	近藤 厚旨	渡辺 一弘	小川 英俊	伊藤 三保			
	伊藤 一成						
	小林 雅史						
交 付 額	600,000	360,000	360,000	360,000	240,000	120,000	120,000
調査研究費		13,200	13,200	13,200	8,800	4,400	
研 修 費	33,540	173,850	20,000	20,000	140,830	10,000	10,000
広 報 費	132,352	200,552	263,362	209,770	61,010		66,000
資料作成費	158,518						
資料購入費	28,490					6,190	
事務所費	54,340						
支 出 額	407,240	387,602	296,562	242,970	210,640	20,590	76,000
返納額	192,760	0	63,438	117,030	29,360	99,410	44,000

※政務活動費「交付額」は、基準日（各月1日）における当該会派の所属議員数に月額30,000円を乗じて得た額

各会派（議員）が政務活動費で参加した主な研修・セミナー

- ◆ ハラスメントについて
- ◆ 子どものアドボカシー
- ◆ 政策立案と提案力
- ◆ ピロリ菌検査・除菌
- ◆ 森林セラピー基地
- ◆ 健康問題と日本の歴史の現在地
- ◆ 生成 AI を活用した議会質問の作り方
- ◆ 地方創生 2.0 について
- ◆ 議員の資質向上と議会運営の基本
- ◆ 交通空白と地域公共交通の役割
- ◆ デマンドタクシー



議会報告会を開催しました



令和8年4月18日(土)、22日(水)、24日(金)、26日(日)の4日間にわたり市内4会場で開催し、員弁会場26人、藤原会場9人、大安会場11人、北勢会場19人、延べ65人の皆さまにご参加いただきました。

3月議会の報告後は4つのテーマで意見交換を実施しました。どの会場でも、いなべ市の未来を考えた多くのご意見をいただきました。



皆さまからいただいたご意見は、今後の所管事務調査に役立て、市民の福祉向上と市の発展にしっかりとつなげていきます。

また、皆さまからのご意見は取りまとめのうえ、議会棟の窓ガラスに掲示しています。ぜひ、ご覧ください。

2040年、介護が足りなくなるかもしれません。一緒に考えませんか。

- ◆世代をこえた地域コミュニティの強化が必要。
- ◆お金があっても介護が受けられない。人材不足問題を解決してほしい。
- ◆議員から、スポーツ、健康増進に繋がる事業を提案してほしい。議員がもっと動いてほしい。
- ◆40代～50代から予防をしなければならない。
- ◆中年食堂を作る！地域のつながり強化！

青川、宇賀溪、梅林公園のキャンプ場に期待すること、求めることは？

- ◆市民が利用しやすい市民のための施設であってほしい。
- ◆いなべ市の自然や歴史を活かした取り組み、活性化を図るべきではないか。
- ◆災害対応が学べるようなキャンプ場。
- ◆キャンプ場の活用について広く市民の声を聞くことが必要では。
- ◆市がキャンプ場をやることのメリットをしっかりと説明してほしい。



たくさんの
貴重な
ご意見



子育てに本当に必要なこども園って、どんな場所？

- ◆役割分担し、保育士の負担軽減をするべき。
- ◆コンパクトなこども園をたくさん建てる方がメリットがある。
- ◆交通の安全面にも配慮を。
- ◆自然豊かでのびのび遊べるこども園。体験重視。
- ◆老人ホームとこども園を同じ場所に。
- ◆保育士の給与を上げるべき。

市役所のデジタル改革で行政サービスはどう変わる？

～書かない、待たない、いかない窓口へ～

- ◆DX化、市民に負担が増える。行政のホームページ使いにくい。
- ◆「誰ひとり取り残さない」理念が逆に不慣れな一般住民の利便性を低下させるデジタルデバインドになる。
- ◆土・日でも平日と同じ窓口対応ができるシステムを望む。
- ◆「おたすけAIいなロボ」があるが周知されていない。

令和8年6月定例会の議会報告は動画で配信しています。

中学生が議場を見学

～議会のしくみを体験～

令和8年5月28日に藤原中学校1年生の皆さん、6月4日に北勢中学校1年生の皆さんが、議場見学に訪れました。



当日は、議会の役割やしくみについての説明の後、質疑応答や採決の模擬体験を行いました。模擬体験では、2つのテーマについて賛否を考え、実際の議会と同じように電子採決ボタンを使って採決を行い、議会の流れを体験してもらいました。

生徒の皆さんは真剣に説明を聞き、積極的に質問する姿がとても印象的でした。議会棟の見学も行い、普段は入ることのできない場所にも興味を持ち、じっくりと見学していました。

今回の見学が、市政をより身近に感じ、自分たちのまちについて考えるきっかけとなれば幸いです。

模擬採決（電子採決システムによる投票を体験！）

議案1 修学旅行の行き先を国外にすることについて

異文化に触れて視野を広げ、国際理解や語学への関心を深めることができるとの提案理由でしたが、賛成少数で否決されました。

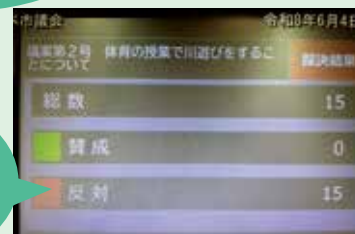
言葉が通じなくて不安だから反対



議案2 体育の授業で川遊びをすることについて

自然環境を通じ、身体的な適応力やリスク管理能力、および仲間との協調性を養うことができるとの提案理由でしたが、全会一致で反対となり、否決されました。

川遊びは溺れる可能性があって危険だから反対



委員会活動報告

令和8年5月11日に議会運営委員会で福島県会津若松市議会を視察しました。

①通年議会の導入と政策サイクル、②政策サイクルに基づく議会活動の制度設計など議会運営について詳しく説明を受け、理解を深めました。

会津若松市議会は、市民意見を政策立案・政策提言につなげる「政策サイクル」の取り組みを丁寧かつ効果的に進められています。

今回の視察では、議会の役割や機能をより良いものにするため、さまざまな「気づき」を得ることができました。

今回の視察を踏まえ、地域の実情や来たる社会変容をしっかりと見据えて、住民の福祉向上と市政発展のために必要な議論を進めます。



クイズ

ぜひご応募
ください

問1 3月定例会の後、報告と市民との意見交換を行ったのは。

〇〇報告会

問2 藤原中学校と北勢中学校の皆さんが議場を訪れて体験したことは。

電子〇〇

問3 従来のパイプテントに替えてユニットハウスを使用し、2日間行われるイベントは。

〇〇祭り

〇を埋めてください。

答えはすべて紙面の中にあります。

応募方法

官製はがきに「答え」・「住所」・「氏名」・「年齢」を記入してお送りいただくか、下記のQRコードから回答してください。正解者の中から抽選で15人に図書カードをプレゼントします。

☆あて先 511-0498

いなべ市北勢町阿下喜31番地

いなべ市議会 議会事務局



応募フォーム

☆締切日 令和8年8月31日(月)《当日消印有効》

※応募いただく「はがき」のスペース(空白)に「議会だより」や「議会」に対するご意見や感想をお聞かせください。次号で紹介させていただきます。

※応募いただいた「はがき」にご記入の個人情報については、目的以外に一切使用しません。

※クイズの答えは次号で掲載します。また、当選者の発表は図書カードの発送をもってかえさせていただきます。

編集後記

サッカー日本代表の熱い戦いが、日本中を沸かせてくれました。選手たちが連携してパスをつなぎ、ゴールを目指す姿は、多様な意見を交わしてより良いまちづくりを進める議会の姿とも重なります。

いなべ市の最高の景色・未来に向けて交わした議論をわかりやすくお伝えできるよう、編集しました。日本代表に負けない情熱で、皆さまに親しまれる議会だよりをお届けしてまいります。

9月定例会について(予定)

- ◆開会日9月 1日(火)
- 一般質問.....9月 8日(火)
- 9月 9日(水)
- 総括質疑.....9月15日(火)
- 予算決算常任委員会.....9月15日(火)
- 総務経済常任委員会・分科会.....9月16日(水)
- 都市教育民生常任委員会・分科会.....9月17日(木)
- 予算決算常任委員会.....9月25日(金)
- ◆閉会日9月29日(火)

インターネット配信



中継配信 URL

http://inabe.gijiroku.com/g07_broadcasting.asp



録画配信 URL

http://inabe.gijiroku.com/g07_Video_Search.asp

録音放送

いなべFM(86.1MHz)で議会の録音放送を聴くことができます。

詳しくはホームページにてご確認ください。



議会の傍聴

市議会では本会議、委員会の開催日に傍聴席を開放しています。途中入場、退場が可能です。お気軽にお立ち寄りください。

<受付場所> 市役所 議会棟2階



SNSの配信

市議会の情報を配信しています。



ご意見箱の設置

皆さまのご意見をお待ちしています。

<設置場所> 市役所 行政棟1階(正面玄関付近)
市役所 議会棟1階(入口付近)
市役所 議会棟2階(傍聴席入口付近)

みんなの声カフェ

意見交換を希望される市民団体・グループを大募集



いなべ市議会 議会事務局

〒511-0498 三重県いなべ市北勢町阿下喜31番地
TEL 0594-86-7848 FAX 0594-86-7872
<https://www.city.inabe.mie.jp/gikai/>



令和8年8月1日発行 発行/いなべ市議会 編集/広聴広報委員会 広報部会

UD FONT
by MORISAWA